

## 主題：聖書の核心

### メッセージ 7

神の家また神の都としての召会のために、キリストを石また鉄として経験する  
聖書：申 8:9 後半、列王上 6:7、I ペテロ 2:4-7、詩 2:9、啓 19:15、12:5、2:27、マタイ 16:18-19、  
18:18、6:10、啓 12:10、11:15

- I. わたしたちは神の家、宮としての召会のためにキリストを石として経験する必要があります——申8:9後半、列王上6:7、ヨハネ1:42、I ペテロ2:4-7：
- A. キリストは神の建造のための石です。これはキリストが神の建造のための材料であること、また神の建造がすべてキリストから成っていることを意味します——使徒4:10-12、I ペテロ2:4-5。
- B. 聖書において、石は主要な項目です——創28:18、ゼカリヤ3:9、I ペテロ2:4-5：
1. 神は土の人を創造しました。このゆえに最初の人土・人でした——創2:7。
  2. キリストの中で、神ご自身は来て人となりました。この人は石・人でした——使徒4:10-12。
  3. 聖書の最後に、石・都があります——啓21:10-11、18前半、19-20。
  4. 聖書は土・人をもって始まり、石・人をもって継続し、石・都において究極的に完成します。これが神のエコノミーです。
- C. 神の建造のための石としてのキリストは、わたしたちがその中で救われる方です。彼は石・救い主、すなわち、堅固で、強く、信頼できる方です——使徒4:10-12。
- D. 宮は地上における神の住まいとしての幕屋に置き換わりました——列王上6:2、8:1-11。
1. 宮は王国のために設計されました——6:2、マタイ16:18-19。
  2. 宮はキリストの唯一のからだとしての召会を予表します——エペソ1:22-23、2:21、I コリント3:16、12:12-13、27。
- E. キリストと彼の信者たちの両者は、神の家、宮の建造のための石です——マタイ21:42、ヨハネ1:42、I ペテロ2:4-5。
1. 「家は建てられるとき、石切り場で切られ、仕上げられた石で建てられた」列王上6:7前半：
    - a. 宮の石は、造り変えにおけるキリストの人性を表徴します。キリストは彼の人性の部分において造り変えられ、神の建造のための石となりました——イザヤ28:16、I コリント3:11、I ペテロ2:4、ゼカリヤ4:7。
    - b. 宮の石はまた、石としてのキリストによって造り変えられたキリストにある信者たちを表徴します——ヨハネ1:42、I ペテロ2:4-7。
  2. キリストの中で、キリストを通して、わたしたちは生ける石となって霊の家として建造されつつあります。わたしたちは造り変えの過程を経過しつつあります。それは生ける石であるキリストがわたしたちの中へと構成されて、

わたしたちを神の家のための生ける石とするためです—— 5 節. ローマ 12:2.

II コリント 3:18。

II. わたしたちは神の都、王国としての召会のためにキリストを鉄として経験する必要があります——申 8:9 後半. 詩 2:9. 啓 19:15. 12:5. 2:27 :

A. 鉄はキリストの権威を表徴します——詩 2:9. 啓 12:5. マタイ 28:18。

1. キリストが諸国民を支配するための鉄の杖は、彼の権威を表徴します—— 7:29. 8:23-9:8. 21:23-24。

2. 天においても地においても、いっさいの権威が復活したキリストに与えられています—— 28:18 :

a. 主イエスは彼の人性にいて、神のひとり子としてすべてのものに対する権威を持っています。

b. 彼の人性において、人の子また王として、彼の復活の後、天においても地においてもいっさいの権威が、彼に与えられました—— 18 節。

c. いっさいの権威が彼に与えられたので、復活したキリストは彼の弟子たちを遣わして諸国民を弟子としました。彼らは彼の権威をもって行きました—— 19 節。

B. 霊的な権威は常に復活の中にあります。ですから、わたしたちは権威を持つために、キリストの復活の命の中にいなければなりません——ローマ 6:4-5 :

1. 召会の権威は絶対に復活の中にあります。わたしたちは復活の中に生きるなら、彼の権威を主張する権利を得ます——マタイ 18:18-20。

2. わたしたちは鉄としてのキリストで構成されるとき、自動的にキリストの権威にあずかります——申 8:9 後半. マタイ 6:10. 16:19. 18:18-19。

C. 都は、神の王国としての召会を表徴します—— 16:19。

1. 召会が拡大し、増強されるとき、神の家は、主が治め、王として支配するための王国としての神の都となります—— 5:14。

2. 家として、召会は神の家、彼が住まわれる場所です。都として、召会は神の王国、彼が支配する場所です——エペソ 2:19-21。

a. 召会は王国のためです。すなわち、家は都のためです。最終的に、神の家は聖なる都、新エルサレムとなります——啓 21:2-3。

b. 召会は命におけるキリストの増し加わりです。また王国は行政におけるキリストの増し加わりです——ヨハネ 3:29 前半, 30 前半. ダニエル 2:34-35。

c. 神の家としての召会は、拡大されて神の都としての召会とならなければなりません—— I テモテ 3:15. 啓 5:9-10 :

(1)キリストの拡大の第一段階は、神の家、神の宮としての召会ですエペソ 2:21-22. I テモテ 3:15。

(2)キリストの拡大の第二段階は、神の都、神の王国としての召会です——ローマ 14:17

d. 家は、おもに命としてのキリストについてです。都は、おもに権威（鉄）を持つかしらとしてのキリストについてです——コロサイ 3:4. 1:18. 2:19。

申 8:9 後半。

e. わたしたちが、キリストがわたしたちの命であるだけでなく、わたしたちのかしらでもあることを認識するとき、召会は家であるだけでなく、また都となります——エペソ 1:22-23. 4:15。

D. 召会は、主の命における内なる支配を通して、主の権威の下に生きなければなりません。また召会は縛ったり解いたりする祈りにおいて主の権威を行使し、霊的戦いに従事して、キリストの権威を伴う王国の実現をもたらさなければなりません——マタイ 5:3, 8. 16:19. 18:18. エペソ 6:10-20. 啓 12:10. 11:15。

© 2013 *Living Stream Ministry*